

疑義照会・確認の簡素化について保険薬局と事前同意として以下の通り疑義照会の簡素化を行います。

#### ①ロコアテープ+NSAID s (消炎鎮痛剤)の併用について

- セレコックス、カロナール、トラムセットとの併用やNSAID s 頓用の場合は処方通りとする。また、併用する旨のコメントがある場合も処方通りとする。  
その他の組み合わせについては疑義照会してください。

#### ②用法違いについて

- パップ剤などで添付文書の用法が 1 日 2 回となっているが 1 日 1 回で処方された場合。→ 処方通りとして疑義照会省略してください。
- プリンペラン錠は食前投与となるが食後投与で処方された場合  
→トラムセット、トラマール、ノルspanなどオピオイドの副作用予防投与とわかる場合は記載の用法通りとする。内科処方、単剤投与の場合は疑義照会してください。
- ザイガル錠は添付文書では眠前投与となっているが 1 日 1 回朝食後投与と処方された場合  
→処方通りとして疑義照会省略してください。
- ロトリガ顆粒・エパデール顆粒は食直後服用だが、食後で処方された場合。
- $\alpha$ -グルコシダーゼ阻害薬・速効型インスリン分泌阻害薬は食直前服用だが、食前で処方された場合。  
→食直前・食直後の記載間違いとして疑義照会は省略してください。
- ⑦エンレスト錠 高血圧適応は 1 日 1 回 200~400 mgだが、1 日 2 回で処方された場合。(慢性心不全は 1 日 2 回)  
→早朝高血圧治療のため、処方通りとして疑義照会省略してください。

#### ③週 1 回・月 1 回のビスホスホネート製剤の用法 (週 1 回服用・月 1 回服用等) について

1 日 1 回 起床時だけの記載で、週 1 回、4 週に 1 回の記載がない場合、

- 週 1 製剤、月 1 製剤は週 1 回、4 週に 1 回の記載漏れとして疑義照会省略とする。

#### ⑥初回投与量について

フェブリク : 10 mg開始だが 20 mgからの処方

オルメテック : 5~10 mgで開始だが 20 mgからの処方

ユリス : 0.5 mg開始だが 1 mgからの処方

→処方通りとして疑義照会省略してください。